

## 森の温泉～駒の湯通信 (2015年8月～)

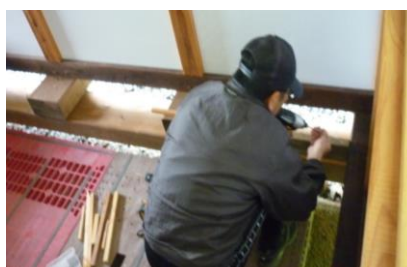


同級生の大工さんが棟梁として湯小屋を建ててくれることになり、駒形根神社で地鎮祭を行っていただきました。災害があったとはいえ、400年前から続く温泉です。温泉の復活が無事進むようお願いしました。被災者の再建とはいえ、国定公園内は制約が多く手続きに時間がかかり、冬期は雪で営業ができないので、少しでも早く開業開始になるようにと、様々な業者さんががんばってくれました。そして、仮設住宅暮らしの仲良しのご夫妻がペンキ塗りなどに何度も来てくれました。本当に有り難かったです。

地区の人も来てくれました。



及川さんご夫妻は何度も手伝いに来てくれました。



許可書と分析書

自分でも作業をしましたが、なじみの業者さんたちに助けられました。

イグネ(屋敷林)の材木をいただいて建設しました。湯小屋全体は栗原市内の杉でできてます。



男湯はブナ、女湯はミズナラの丸太で出来た湯口で作ったので、それぞれを、ブナの湯、ミズナラの湯と名付けました。

震災から7年余り後に日帰り温泉ができました。身の丈に合ったものとはいえ、小さな湯小屋にぬるいお湯…

不安でしたが、たくさんの方が来てくださって励まされました。従業員さんのご遺族からもお祝いをいただき、本当に有り難かったです。

(株)原一さま・島津静江基金さまからご寄付をいただきました。ありがとうございました。

足湯の頃から応援してくださっているTakemaさんから新しく幟を、仲良しのご夫妻から暖簾をいただきました。また、お寺から花輪、仲間からお花、お客さんからのご祝儀など、思いがけないことだったので、本当にうれしかったです。

また、テレビや新聞などでも取り上げてもらい、たくさんお客さんが来ていただきましたが、小さな湯小屋ではゆっくりしていただけなかったと思いますが、「がんばったね」とたくさん声をかけていただきました。本当にありがとうございました。

これからも400年のお湯とこの地を守っていきたいと思っています。応援よろしくお願ひします。

